

「畦畔グリーン」畦畔管理省力化への取り組み

担い手の規模拡大に伴い、畦畔管理の作業が増大しております。
 特に中山間地等では急勾配で面積が大きく、周辺圃場管理の省力化が求められます。
 TAC では「畦畔グリーン」を使用した畦畔管理の省力化試験を実施しております。

畦畔グリーン導入のメリット

畦畔グリーンは寒冷地型芝草で非常に耐寒性が高く、生育期間が短い寒冷地においても旺盛に生育し
表面被覆が完成すると、それ以降の草刈り等の管理を省略できます。

●畦畔グリーン導入の課題

播種前の雑草対策をラウンドアップ等で確実にいき、初年度は植生誘導のための管理が必要です。
 導入にあたっては種子代等の経費がかかるため、中山間地域補助金の利用や、行政の支援要請等の働きかけが必要と思われまます。

★駒形地区



植付前



9/13 植付(ワラ芝工法)

★東成瀬地区



9月11日播種直播



9月18日発芽